



台湾經濟貿易投資の發展方向 及び日台第三国市場の共同開拓

經濟部國際貿易局
2020年7月

発表概要

- 壹、国際経済の新情勢
- 貳、台湾経済貿易投資の発展方向及び新南向政策
 - 一、台湾経済貿易投資の発展方向
 - 二、新南向政策紹介
 - 三、企業発展の支援方法
- 参、日台第三国市場の共同開拓
 - 一、日台第三国市場連携状況
 - 二、連携事例
 - 三、本年活動計画
- 肆、結論



壹、國際經濟の新情勢

● 将来の国際経済貿易発展の観察ポイント

- 新型コロナウイルスの感染拡大によって全世界の**消費**、**投資**、**貿易**が妨げられ、需要が縮小し、各国の生産能力も低下、経済貿易の成長が衝撃を受けている。
- 各国で**量的緩和**政策及び利率を下げるなどして資金を投資し、資金の流動性を高め効果があるか観察中；各国財政の救済措置は政府の債務を**高める**リスクがある。
- 国際石油価格の**下落**により、石油化学製品価格は下がり、主要生産国の経済状況や輸出状況に影響を及ぼす。
- 米中貿易摩擦及び新型コロナウイルスの状況によって、多国籍企業はグローバル戦略の練り直しを迫られ、加速生産の「グローバル化」から「現地化」或いは「区域化」のグローバルバリューチェーン変革に転換、**サプライチェーンの安全性**、**強靱性**、及び**信頼性**がより重要になる。
- テレワーク、オンライン学習、ネットショッピング、巣ごもり経済など「**タッチレス経済**」のビジネスモデルや越境デジタル貿易の比率が大幅に増加、デジタル貿易は将来貿易推進や交流の重要な形態になる。

● 2020年全世界の経済衰退・2021年盛り返しの希望

米中貿易摩擦及び新型コロナウイルスの影響で、2020年全世界の経済衰退が予測される。

- IHSは2020年全世界の経済成長率予測を-5.5%に下方修正。
- ASEAN 5 カ国中ベトナムのみがプラス成長。

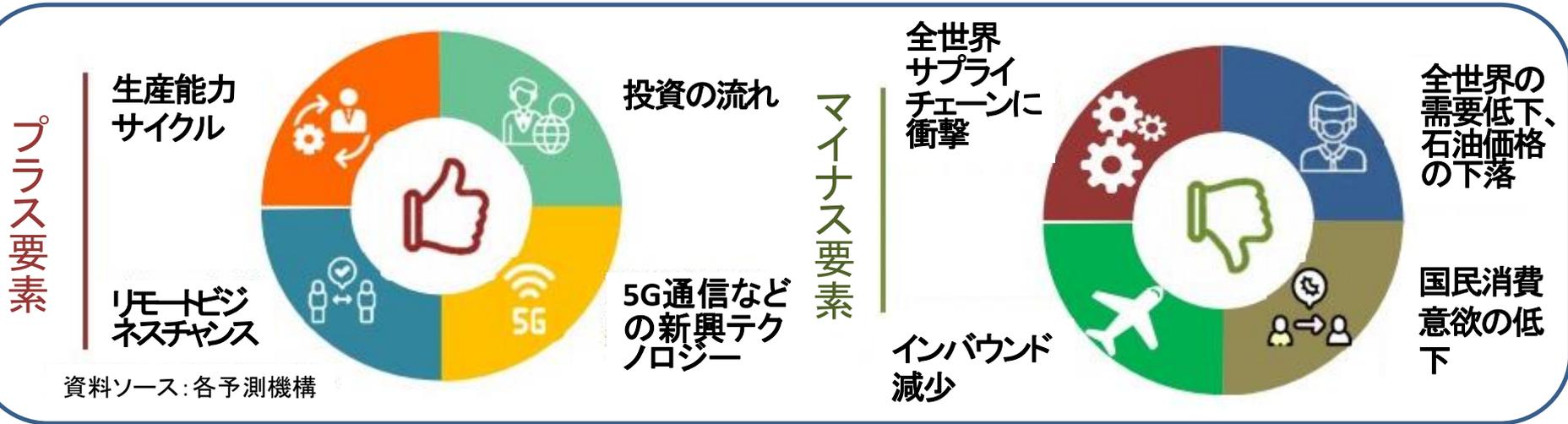
WTOは今年の全世界の貿易が13%から32%縮小すると予想、振り幅は2008年の国際金融危機を超える。

現在第一四半期の降下幅は3%、第二四半期は既に26.9%に達した。世界貿易量は依然として不確定。

	2019	2020	2021
全世界	2.6	-5.5	4.5
アメリカ	2.3	-7.3	5.1
EU	1.2	-8.6	3.6
日本	0.7	-5.5	1.7
韓国	2.0	-0.9	1.7
ベトナム	7.0	3.2	5.6
フィリピン	6.0	-2.2	7.2
インドネシア	5.0	-1.9	3.1
マレーシア	4.3	-1.2	3.1
タイ	2.4	-6.0	3.0
シンガポール	0.7	-8.1	5.4
インド	4.7	-1.8	5.2

貿易局製表；資料ソース：IHS Markit,2019/5月

● プラスとマイナス要素



● 企業が将来直面するサプライチェーンシステムが注意すべき危機管理

- 短期**
 - 集注管理体制の強化、改造の必要性、サプライチェーンの変動に適応する。
- 中期**
 - 短期の危機管理措置からより信頼性のある危機管理システムへ
- 長期**
 - デジタル化ツールの運用でサプライチェーンの変化に対応する対策の柔軟性を高める。

貳、台湾經濟貿易投資の發展方向 及び新南向政策

● 蔡總統2020年5月20日就任演説：

米、日、欧と貿易
または投資保障協
定を結ぶ

引き続き国際組織への参与を目指し、友好国との共存共栄関係を強化し、米、日、欧など利益をシェアし合う国との連携関係を深める。

新南向政策
を継続して推進

引き続き新南向政策を推進すると同時に、潜在能力を持つ市場も積極的に開拓し、企業の現地進出を奨励し、産業の国際連携のために、より良い条件を創り出す。世界で機会を探求する際に、各地の台湾企業は最高のパートナーとなる。

6大核心
戦略産業

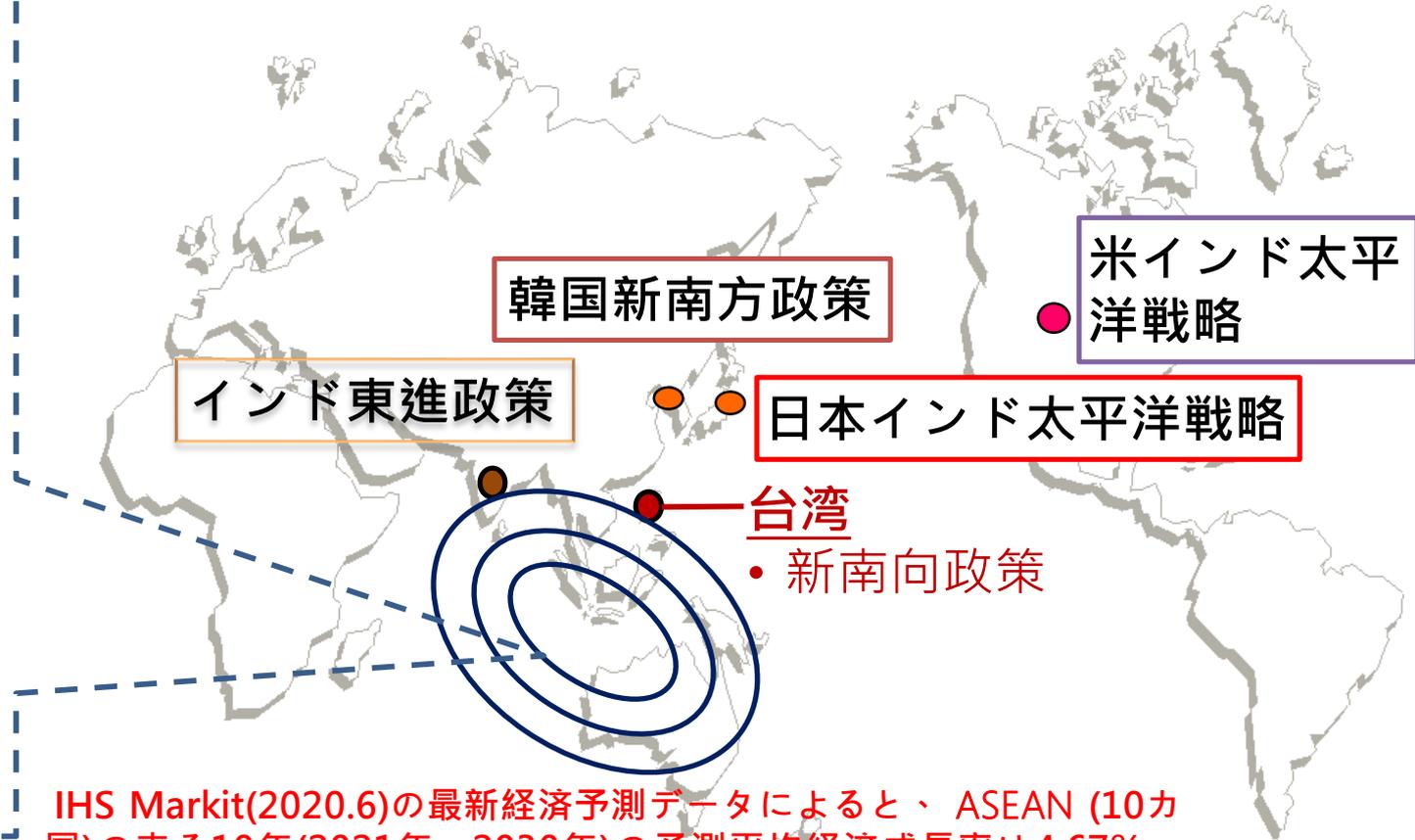
産業發展では、タイミングを逃すことなく、5+2産業イノベーションを基礎とし、情報デジタル産業、情報セキュリティ産業、バイオメディカル産業、国防戦略産業、グリーン電力及び再生可能エネルギー産業、民生と戦備産業の構築を含む「6大核心戦略産業」を作り上げ、台湾は将来世界經濟の核心的パワーとなる。

二、新南向政策(1/2)

- アジア太平洋地域の世界における重要性の向上**：新南向政策対象国の経済は高速で成長し、地理政治学上でますます重要になり、各国が競って進出する重要地区となった。

新南向政策対象国

インドネシア	ミャンマー
タイ	ラオス
シンガポール	オーストラリア
フィリピン	ニュージーランド
マレーシア	バングラディシュ
ベトナム	スリランカ
インド	パキスタン
ブルネイ	ネパール
カンボジア	ブータン



IHS Markit(2020.6)の最新経済予測データによると、ASEAN (10カ国)の来る10年(2021年~2030年)の予測平均経済成長率は4.67%、世界の将来10年の平均経済成長率(3.26%)を遥かに上回る。

台湾のソフトパワー

農業

1. 農民の生産フロー、病気の予防、管理販売の改善をサポート
2. 政府による育種、栽培、病気と害虫予防技術などの**革新研究**を長期サポート
3. 先進農産**加工技術**の推奨、農産品の付加価値を高めて農民の収入を上げる

テクノロジーと産業

1. 政府の開発機構に対する長期の資金援助、及び効果的な**技術移転**制度を開発し、**産業連携**を促進。
2. 企業同士で支援し合える**産業クラスター**の形成（例：南港ソフトウェアパーク、高雄周辺工業区）

教育

1. 台湾の**万全な**高等教育環境、学習制度、且つ大学の学費は**比較的魅力的**である。
2. 技術職業教育体系と企業の密接な結びつきによって、**インターンシップ**と**新卒就職**の増加に繋がる。

防災救助

1. 南投竹山にアジア最大の消防訓練センター。
2. 既に多様化する災害への対応経験を累積し、連携国と**防災救助交流**を積極的に行う。
3. 多くの台湾民間機構が国内外で長期にわたって災害後の再建ボランティアに従事。

中小企業と創業

1. 台湾の中小企業は全体の**97.7%**占め、**リソース統合**し産業クラスターの形成を得意とし、**環境適応能力が高い**。
2. 国外で名が知られる台湾中小企業、例：世界市場の65%を占めるダイビングスーツ(SHEICO)、その経験は連携国の中小企業の発展に役立つ。

医療衛生

1. 台湾の**健康保険制度**は世界**最高ランク**。
2. 最先端医療技術、ドクターチーム、**コミュニティ防疫**の経験を有す。

三、企業発展の支援方法

リソース計画に関して

01

新南向サービスセンター

民間に新南向資源を理解し利用してもらうために、統一して各種サービスを提供する

02

新南向政策対象国企業家ビジネスマッチングイベント

新南向政策対象国別のマッチングイベントを準備し、企業を集めてコンセンサスを広め、新南向市場ビジネスチャンスをも共有で開拓する。

03

多様化連携とマーケティング対策

産業の結合や多様化マーケティング方式を通して、企業が新南向市場開拓のビジネスチャンスをサポート及び金融貸付支援。

04

コンサルティングサポート

新南向市場進出コンサルティングサービスを提供し、企業が現地の商況を理解する支援

05

新南向国際経済人材養成

高雄にて養成専門クラスを開設し、選出した学生を新南向政策対象国企業に派遣し実習させる、人材の競争力を高め企業に役立てる

06

疫病状況に対応し企業のデジタルトランスフォーメーションを支援

多様化オンライン広告や商品のリモート発表会でマーケティング強化、デジタル貿易学苑を設立し貿易人材を養成、デジタルマーケティングの指導など提供、デジタル展覧会産業

參、日台第三国市場共同開拓

一、日台第三国市場の連携状況(1/3)

● 日台連携の利点-日台企業連携は半世紀超え、良好な信頼関係を確立

日本企業の利点

先端技術

- 開発力の研究
- 品質管理能力

ブランド力

- 多くの知名度の高いブランド
- トップレベルのサービスと品質
- 高いマーケティング能力



台湾企業の利点

経営力

- 技術統合及び応用が得意
- コストコントロールと精密製品量産が得意
- 戦略決定が迅速
- 商機に敏感
- 環境変化への適応能力

国際化

- 中国、東南アジア国家での投資配置、台湾企業ネットワーク
- 多言語能力
- 海外市場開拓に気後れせず



協力する価値

1. 製品の価格競争力を上げる
2. 市場の需要に合った製品開発
3. 台湾企業のネットワークを利用して市場開拓

JAPAN+TAIWAN=Win-Win の関係



一、日台第三國市場連携狀況(2/3)

● 日台第三國市場共同開拓プロジェクト

日台企業第三
國市場の共同
開拓を推進

台湾企業の需要

- 日系企業のサプライチェーンに参入し海外市場の開拓、日本企業の先端技術と優良製品を導入、自主製造製品の種類を充実させ、リスクを分散。

日本企業の需要

- 高品質で低価格の部品を獲得、台湾企業の東南アジアでの生産拠点及びネットワークを利用し、リスクとコストを下げ、海外顧客と市場を開拓。

連携推進

台湾企業との連携利点を日系企業に理解してもらうために、TAITRAとJETROは以下の3点に基づいて連携を推進する：

- (1)調査対象を共同選択、第三國市場連携のニッチを分析(調査)
- (2)共同で日台第三國市場商機説明会を開催(宣伝)
- (3)商談会を通じて日台間の買い付けを確実に行う(商談)



一、日台第三国市場連携状況(3/3)

● 2019年台日共同開拓第三国市場事例状況(宣伝及びマッチング)



調査 - ベトナム市場

3月10月から3月17日ベトナムホーチミン、ハノイ周辺地区で10社の現地台湾企業と台商会を訪問、医療材料、電子、紡績業。



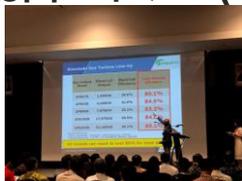
宣伝 - 台湾で4回、日本で4回研究討論会、マレーシアでフォーラムを開催

- (台湾) 16, 10月に台北と高雄で4回の説明会を開く、合計200人参加
- (日本) JETROと共同で地方都市で小規模の研究討論会を開催、9/10広島、11/19沖縄、12/16金沢、12/17加賀
- (マレーシア) 7月5日マレーシアの台湾EXPO期間中に、JETROとみずほ銀行共同で「台日企業共同フォーラム、交流会」を開催した。75社が出席。



マッチング - インドネシア、ベトナム日台企業連携マッチングイベント

- 9月3日インドネシア(チカラン) 27社台湾企業、21社日本企業参加
- 9月20日ベトナム(ビンズオン) 26社台湾企業 21社日本企業





二、連携事例

● 日台企業共同開拓第三国市場連携 (事例)

モデル一：在**台**と**現地**台湾企業の**日本**企業の**東南アジア**サプライチェーンへの進出を支援

モデル二：日台企業が**台湾**で**システム統合計画**を**研究開発**後**第三国**市場を**共同開拓**

モデル三：日台企業が**第三国**で**合併会社**を**設立**し**現地市場**を開拓

モデル四：**台湾**企業**チャネル**を通じて**日本**企業が**第三国**で**製品販売**

生産製造



OEM、部品供給

- 事例:台湾企業と日本企業のベトナム拠点での連携、医療機材をベトナム現地市場に提供。

技術



研究開発、技術移転

- 事例:台湾情報サービス企業と日本電信業者がお互いのソフトウェア、ハードウェアの強みを結合しミャンマー市場を開拓。

事業経営



合併

- 事例:台湾自動車部品業者と日本業者がインドネシアで合併会社を設立し現地企業と海外企業に提供。

販売チャネル



ブランド、販売チャネル

- 日本企業と台湾バイオテクノロジー企業が連携し、台湾企業のベトナム、インドネシアチャネルを利用し、現地市場のマーケティングを行う。

三、2020年活動計画

2020年
海外重要市場

ベトナム
マレーシア

2020年
日台説明会

5月27日台北開催(リモート)
7月22日日本開催(リモート)
11月高雄開催

第三国マッチン
グイベント

11月
ベトナム
日台企業交流フォーラム及マッチング

12月
マレーシア
台日企業交流フォーラム及マッチング

方法：台日連携
のプラット
フォームを提供

TAITRA

- 現地台湾企業を招待
- 日台企業交流推進

JETRO (予定)

- 現地日本企業を招待
- 現地日本企業の需要を提出

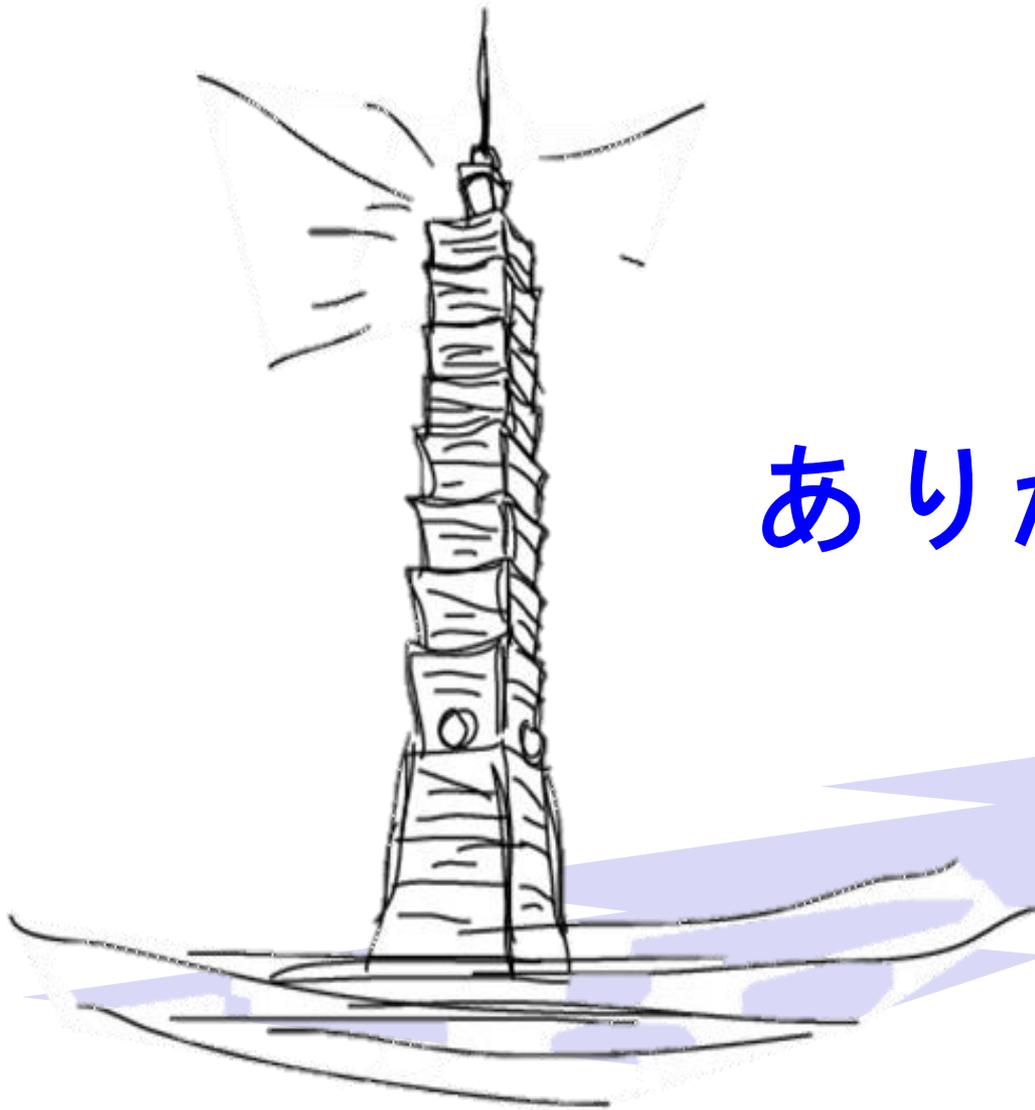
効果と利益

引続き台日交流の促進、協力の機会と商機の強化

肆、結論

結論

- ◆ 米中貿易摩擦と疫病の影響を受け、全世界のサプライチェーン、各国企業の仕入れ及び連携形式が変化する可能性。
- ◆ 台湾企業は豊富な海外市場開拓経験があり、世界を跨ぐネットワークを有し市場の需要に臨機応変に対応し、素速く生産規格を調整する柔軟性を備える；日本企業は高度な技術と品質管理能力、東南アジアや南アジアに深く根付いた経験を備える。 →日台双方でサプライチェーンの連携領域について考えることが可能、お互いの長所を生かして第三国市場を開拓し、WIN-WINの関係を築くことができる。
- ◆ 今回の説明会で日台企業に現在の情勢や日台企業連携成功例について理解を深めることができると信じ、もっと具体的に第三国市場開拓の青写真が描けるように手助けし、双方の海外市場における競争力を強化。



ご清聴
ありがとうございました